

2021年3月期 第2四半期 アナリスト向け決算説明会

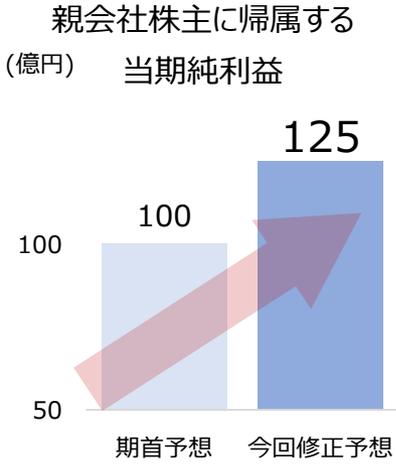
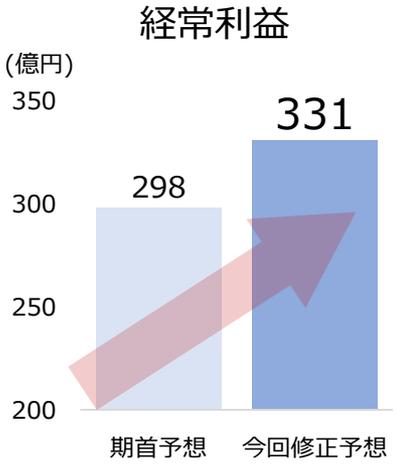
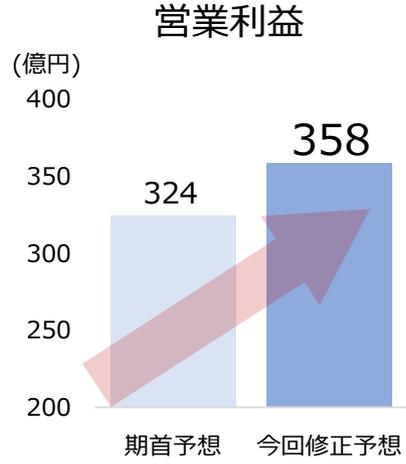
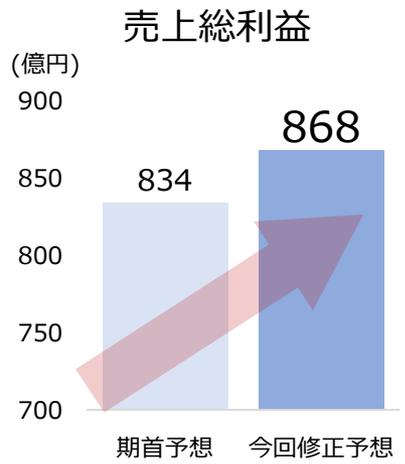
2020年 11月11日

代表取締役社長 前田 操治

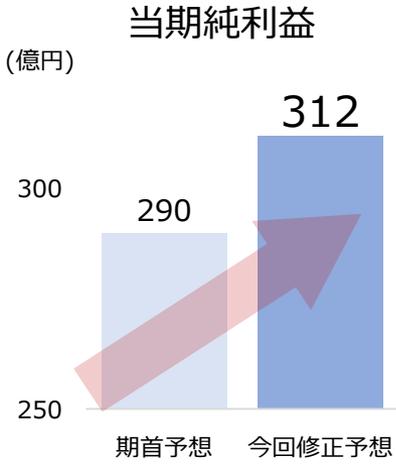
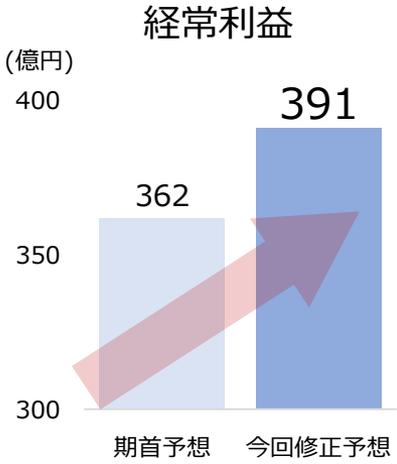
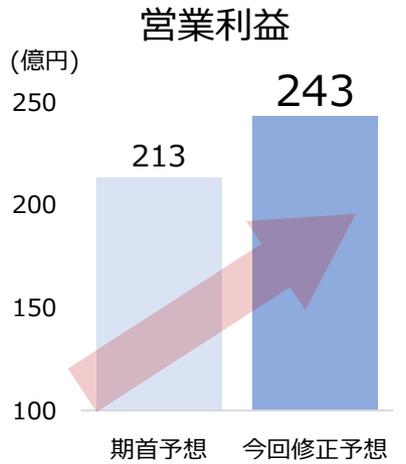
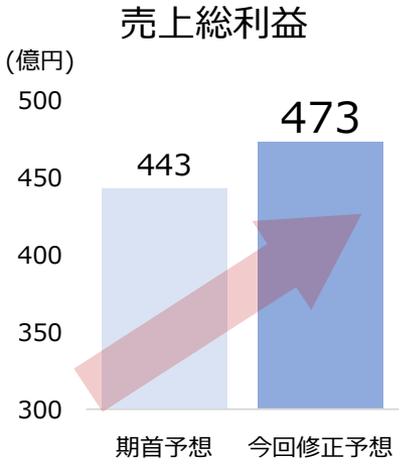


連結・個別ともに、売上総利益、営業利益、経常利益、純利益の期首予想を**上方修正**（決算短信P3参照）

連結



個別



①P/Lへの影響

前田道路 連結→

	19.3月期 通期実績	20.3月期 通期実績※1	21.3月期 期首予想※2	21.3月期 今回修正予想※2
営業利益	359	340	324	358
当期純利益	240	143	100	125

※1 段階取得損失 76億円（特別損失） ※2 のれん償却 97億円（一般管理費）

②B/Sへの影響

前田道路 連結→

	19.3月期	20.3月期
総資産	7,176	9,208

③EBITDAへの影響

前田道路 連結→

	19.3月期 実績	20.3月期 実績	21.3月期 期首予想	21.3月期 今回修正予想
EBITDA (①+②+③)	427	488	658	658
①営業利益	292	340	324	358
②減価償却費	135	147	237	203
③のれん償却	-	-	97	97

(1) 業績への影響について

- 21年3月期の個別・連結業績への大きな影響はない
- 一部の主要連結子会社には影響が見込まれるものの、連結業績全体への影響は軽微に留まっている
- インフラ運営事業においては、今回のような緊急時での過大な影響を抑制する条件を契約段階で設定しているため、業績への影響は軽微である
- 当社においては、新型コロナの影響は軽微であり、それを上回る収益改善により、連結・個別の売上総利益、営業利益、経常利益、当期純利益の通期業績予想を上方修正した（前頁ハイライト参照）

(2) 工事受注への影響について

- 土木・建築の国内、海外ともに大きな影響はなく、目標受注額を達成の見込みである
- 建築事業における民間工事は五輪延期の影響による期ずれや一部の用途（宿泊施設など）で影響を受けているが、再開発などの大型案件や安定顧客からの受注見込みに加え、官庁工事の受注の伸びが寄与し、目標達成の見込みである
- 取り組み中のコンセッション事業の新築工事や維持更新工事もコロナの影響は受けておらず、受注が期待できる
- 菅政権下では、防災・減災・国土強靱化への取り組み強化に加え、縦割り排除・デジタル化の推進等の行政改革、大胆な規制緩和を伴った再生エネルギー事業の推進、地方創生に伴う生活インフラの充実のための事業、コンセッション事業の更なる拡大が掲げられており、総合インフラサービス企業を目指す当社にとって追い風となる

(3) 資材・調達への影響について

- 土木・建築事業ともに資材・調達への大きな影響はなく比較的落ち着いている
- 労務、資機材の調達状況に大きな問題はなく、むしろ余剰感も出ており、業績への追い風になると予想する
- 資材費、労務費は当面影響が出るとは考えにくい

2021年3月期第2四半期 決算概要および業績予想

Summary of Corporate Achievements and Forecast

(単位：億円)

第2四半期

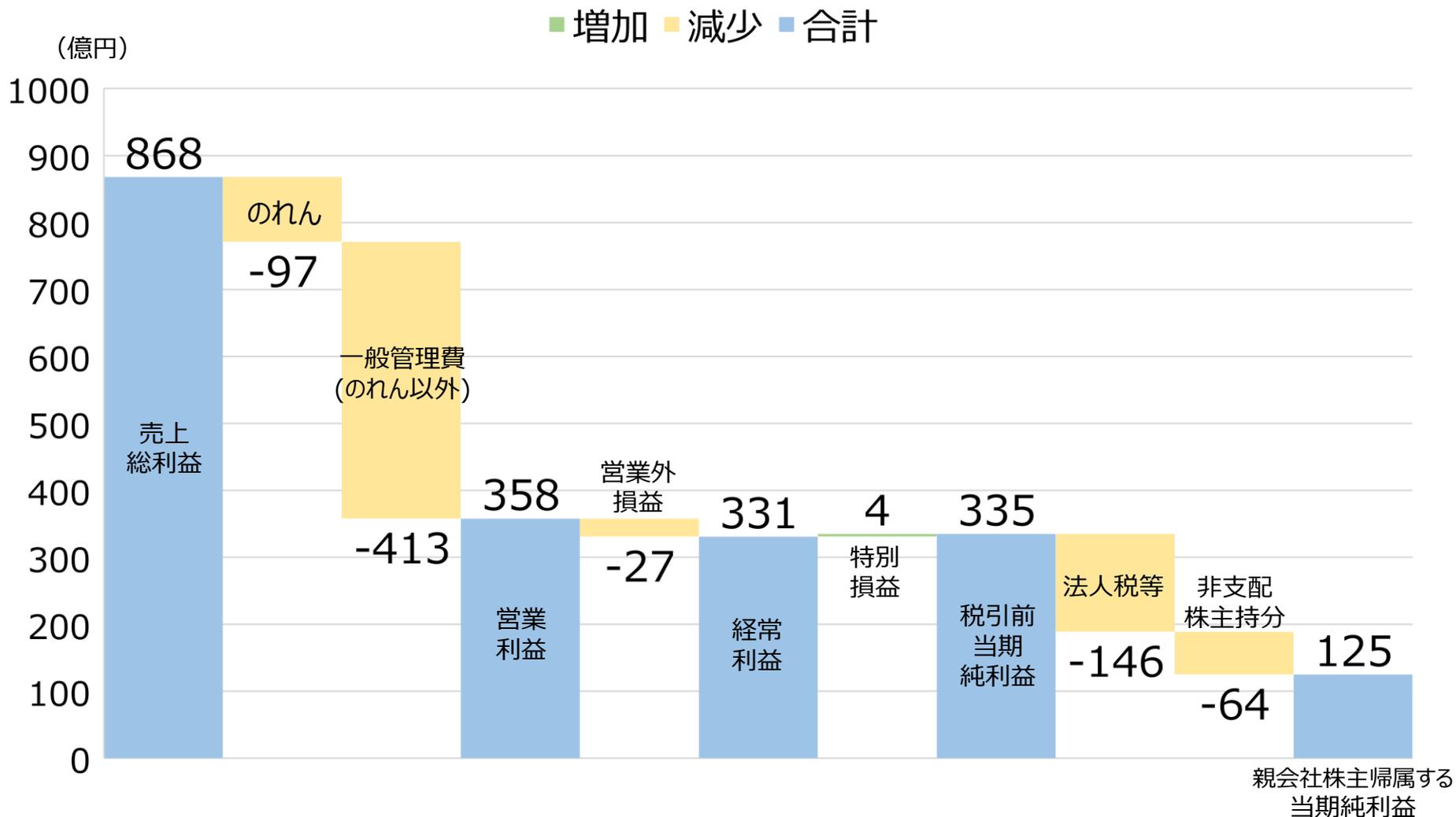
	20.3月期 実績	21.3月期 実績	前年同期比
売上高	2,373	3,012	+ 639
売上総利益	334 (14.1%)	428 (14.2%)	+ 94 (+0.1%)
一般管理費	153 (6.5%)	253 (8.4%)	+100(+1.9%)
営業利益	180 (7.6%)	174 (5.8%)	-6 (-1.8%)
経常利益	206 (8.7%)	191 (6.3%)	-15 (-2.4%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	159 (6.7%)	91 (3.0%)	-68 (-3.7%)

(単位：億円)

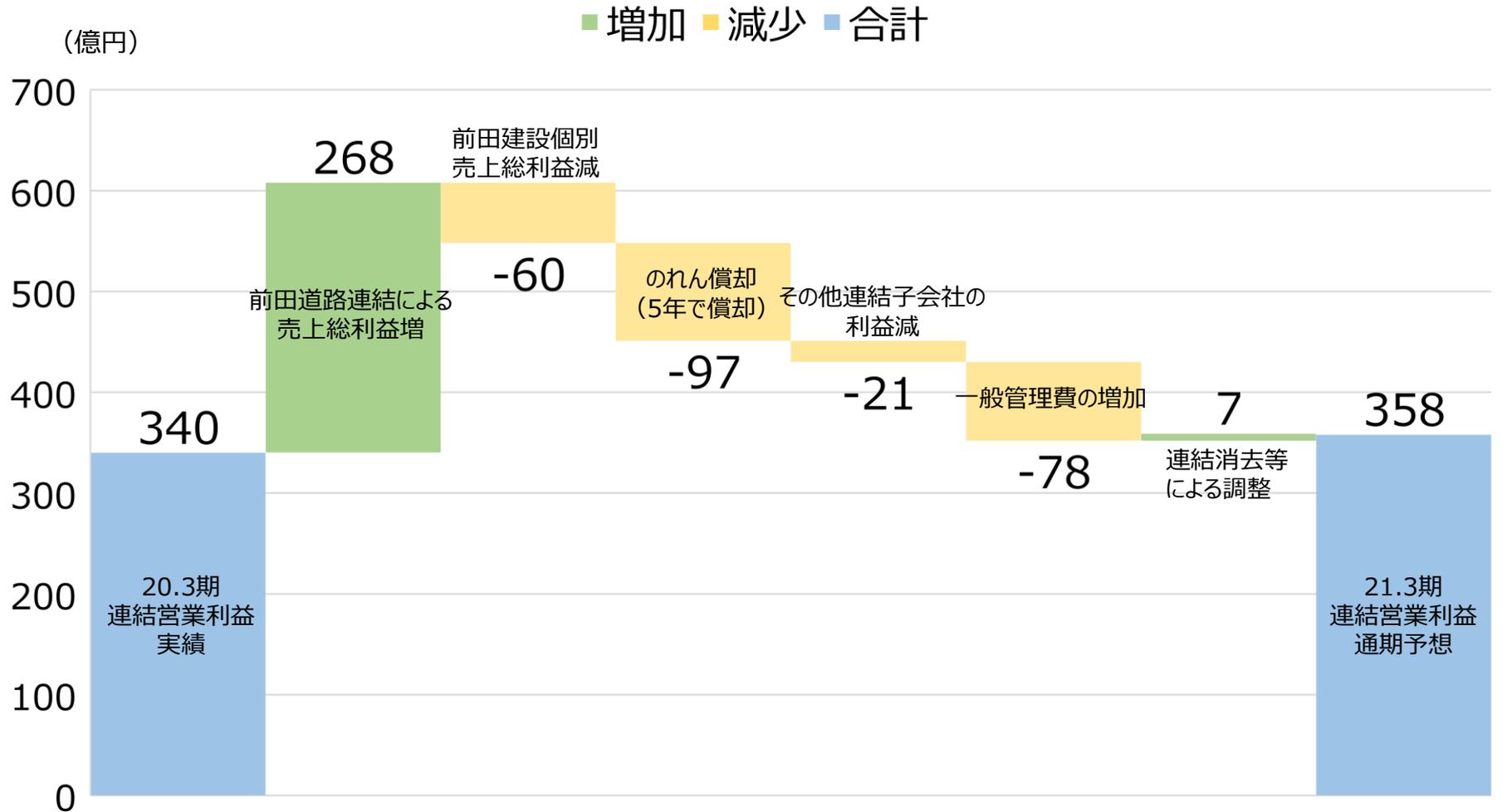
通期

	20.3月期 実績	21.3月期		前年同期比
		期首予想	今回修正予想	
売上高	4,879	6,620	6,515	+ 1,636
売上総利益	676 (13.8%)	834 (12.6%)	868 (13.3%)	+ 192 (-0.5%)
一般管理費	335 (6.9%)	510 (7.7%)	510 (7.8%)	+175(+0.9%)
営業利益	340 (7.0%)	324 (4.9%)	358 (5.5%)	+18 (-1.5%)
経常利益	366 (7.5%)	298 (4.5%)	331 (5.1%)	-35 (-2.4%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	143 (2.9%)	100 (1.5%)	125 (1.9%)	-18 (-1.0%)

■ 前田道路の連結子会社化により、97億円/年ののれんを5年間（21.3月期から25.3月期）で償却



【連結】前田道路連結子会社化による営業利益(通期予想)の前年同期との比較 7



【連結】セグメント別 売上高・売上総利益の内訳

第2四半期

通期

(単位：億円)

	20.3月期 2Q実績	21.3月期 2Q実績	20.3月期 通期実績	21.3月期 期首予想	21.3期 今回修正予想
売上高	2,373	3,012	4,879	6,620	6,515
建築	1,273	1,114	2,651	2,482	2,417
土木	810	715	1,548	1,520	1,510
製造	184	154	381	356	343
イノベーション	95	72	187	167	149
舗装	—	949	—	2,080	2,080
その他	11	8	112	15	16
売上総利益	334 (14.1%)	428 (14.2%)	676 (13.8%)	834 (12.6%)	868 (13.3%)
建築	94 (7.4%)	95 (8.5%)	251 (9.5%)	244 (9.8%)	242 (10.0%)
土木	179 (22.1%)	148 (20.8%)	294 (19.0%)	214 (14.1%)	246 (16.3%)
製造	32 (17.2%)	27 (17.8%)	69 (18.1%)	60 (16.9%)	60 (17.5%)
イノベーション	23 (23.9%)	22 (30.9%)	52 (28.0%)	40 (24.0%)	44 (29.5%)
舗装	—	130 (13.7%)	—	268 (12.9%)	268 (12.9%)
その他	6 (57.8%)	4 (48.5%)	9 (7.9%)	8 (53.3%)	8 (50.0%)

(単位：百万円)

連結子会社	(株)前田道路				(株)前田製作所				(株)エフビーエス			
	19.3月期 通期実績	20.3月期 通期実績	21.3月期 期首予想	21.3月期 修正予想	19.3月期 通期実績	20.3月期 通期実績	21.3月期 期首予想	21.3月期 修正予想	19.3月期 通期実績	20.3月期 通期実績	21.3月期 期首予想	21.3月期 修正予想
売上高	211,347	219,663	210,000	修正なし	34,392	34,847	30,550	30,000	20,844	21,572	22,100	22,300
営業利益	17,102	17,044	16,800		1,513	1,606	700	1,000	1,267	1,011	759	760
経常利益	16,698	17,155	17,000		1,617	1,715	780	1,100	1,283	1,043	790	790
当期純利益	11,066	17,532	11,000		866	1,168	520	750	822	654	500	500

連結子会社	フジミ工研(株)				(株)JM				愛知道路コンセッション(株)			
	19.3月期 通期実績	20.3月期 通期実績	21.3月期 期首予想	21.3月期 修正予想	19.3月期 通期実績	20.3月期 通期実績	21.3月期 期首予想	21.3月期 通期予想	19.3月期 通期実績	20.3月期 通期実績	21.3月期 期首予想	21.3月期 修正予想
売上高	8,567	7,181	8,350	7,200	30,131	31,316	26,000	26,000	16,329	16,232	14,248	12,539
営業利益	543	421	360	190	488	304	120	120	3,289	3,663	2,442	2,945
経常利益	557	439	380	230	500	308	131	158	1,678	2,155	986	1,489
当期純利益	450	389	320	180	324	185	91	110	1,529	1,987	887	1,352

持分法 適用会社	東洋建設(株)				光が丘興産(株)			
	19.3月期 通期実績	20.3月期 通期実績	21.3月期 期首予想	21.3月期 修正予想	19.3月期 通期実績	20.3月期 通期実績	21.3月期 期首予想	21.3月期 修正予想
売上高	148,759	156,689	157,000	修正なし	55,606	48,854	44,000	36,000
営業利益	7,039	8,259	6,800		805	815	300	500
経常利益	7,146	8,477	6,600		1,196	1,307	775	990
当期純利益	4,879	5,664	4,500		735	898	550	510

(単位：億円)

第2四半期

	20.3月期 実績	21.3月期 実績	前年同期比
売上高	1,912	1,701	-211
売上総利益	271 (14.2%)	243 (14.3%)	-28 (+0%)
一般管理費	115 (6.0%)	120 (7.1%)	+5(+1.0%)
営業利益	155 (8.1%)	123 (7.2%)	-32 (-0.9%)
経常利益	178 (9.3%)	284 (16.7%)	+106 (+7.4%)
四半期純利益	144 (7.5%)	246 (14.5%)	+102 (+7%)

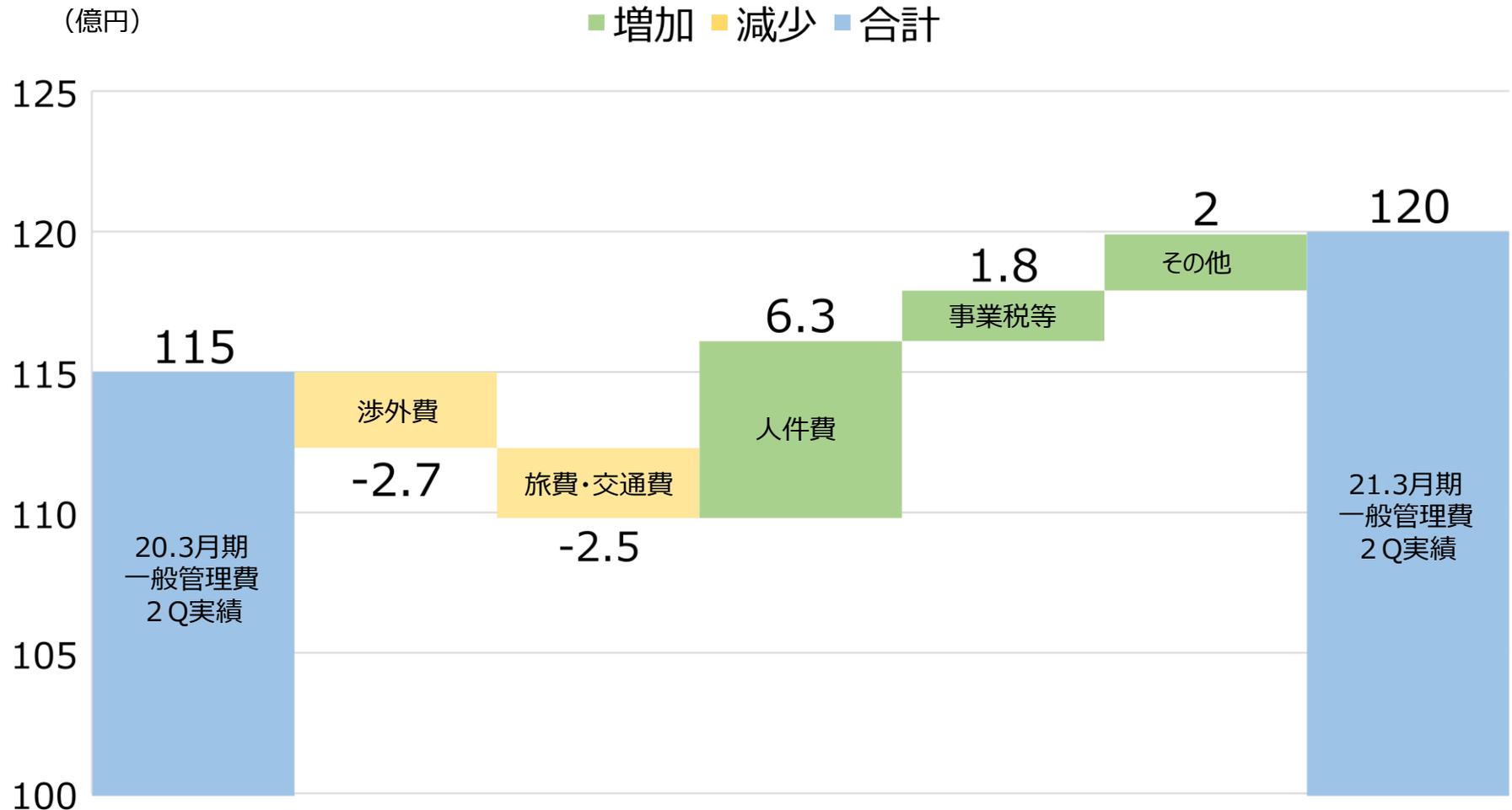
(単位：億円)

通期

	20.3月期 実績	21.3月期		前年同期比
		期首予想	今回修正予想	
売上高	3,873	3,649	3,575	-298
売上総利益	532 (13.7%)	443 (12.1%)	473 (13.2%)	-59 (-0.5%)
一般管理費	246 (6.3%)	230 (6.3%)	230 (6.4%)	-16 (+0.1%)
営業利益	286 (7.4%)	213 (5.8%)	243 (6.8%)	-43 (-0.6%)
経常利益	298 (7.7%)	362 (9.9%)	391 (10.9%)	+93 (+3.2%)
当期純利益	214 (5.5%)	290 (7.9%)	312 (8.7%)	+98 (+3.2%)

【個別】一般管理費の前年同期との比較（第2四半期）

- コロナの影響により渉外費、旅費・交通費が削減
- 賞与などの人件費が増加



【個別】セグメント別 売上高・売上総利益の内訳

12

第2四半期

通期

(単位：億円)

		20.3月期 2Q実績	21.3月期 2Q実績	20.3月期 通期実績	21.3月期 期首予想	21.3月期 今回修正予想
売上高		1,912	1,701	3,873	3,649	3,575
建築	計	1,090	976	2,206	2,120	2,075
	国内	1,063	972	2,166	2,105	2,070
	海外	28	5	40	15	5
土木	計	806	710	1,538	1,500	1,470
	国内	777	705	1,509	1,491	1,457
	海外	29	5	30	10	13
レジャー運営		6	6	16	14	14
不動産		11	8	112	15	16
売上総利益		271 (14.2%)	243 (14.3%)	532 (13.7%)	443 (12.1%)	473 (13.2%)
建築	計	81 (7.4%)	87 (9.0%)	217 (9.8%)	212 (10.0%)	213 (10.2%)
	国内	80 (7.5%)	87 (9.0%)	216 (10.0%)	211 (10.0%)	212 (10.2%)
	海外	1 (4.6%)	0 (7.4%)	1 (3.4%)	1 (6.7%)	0 (7.7%)
土木	計	178 (22.1%)	146 (20.5%)	290 (18.9%)	210 (14.0%)	240 (16.3%)
	国内	145 (18.7%)	146 (20.6%)	261 (17.3%)	210 (14.1%)	240 (16.9%)
	海外	32 (113.0%)	0 (1.4%)	29 (97.8%)	0 (3.2%)	0 (-3.1%)
レジャー運営		6 (99.8%)	6 (97.7%)	16 (99.9%)	13 (95.6%)	13 (95.6%)
不動産		6 (57.4%)	4 (47.5%)	9 (7.8%)	8 (53.3%)	8 (46.9%)

受注高

(単位：億円)

	20.3月期 2Q実績	21.3月期 2Q実績	20.3月期 通期実績	21.3月期 通期予想
建築	742	788	2,392	2,500
土木	810	511	1,564	1,550
ノウハウ運営	6	6	16	—
不動産	13	8	114	—
合計	1,570	1,313	4,085	4,050

		20.3月期 通期実績	21.3月期 通期予想	前年 同期比
建築	国内官庁	292	400	+108
	国内民間	2,088	2,070	-18
	海外	12	30	+18
土木	国内官庁	637	890	+253
	国内民間	904	610	-294
	海外	22	50	+28

次期繰越高

(単位：億円)

	20.3月期 2Q	21.3月期 2Q	20.3月期 期末	21.3月期 期末予想
建築	2,683	3,028	3,216	3,641
土木	2,924	2,746	2,945	3,025
ノウハウ運営	—	—	—	—
不動産	3	3	—	—
合計	5,610	5,777	6,162	6,667

		20.3月期 期末	21.3月期 期末予想	前年 同期比
建築	国内官庁	458	528	+70
	国内民間	2,754	3,084	+330
	海外	5	30	+25
土木	国内官庁	1,318	1,363	+45
	国内民間	1,611	1,609	-2
	海外	15	53	+38

事業別ハイライト

Latest Highlights by Segments

建築事業

土木事業

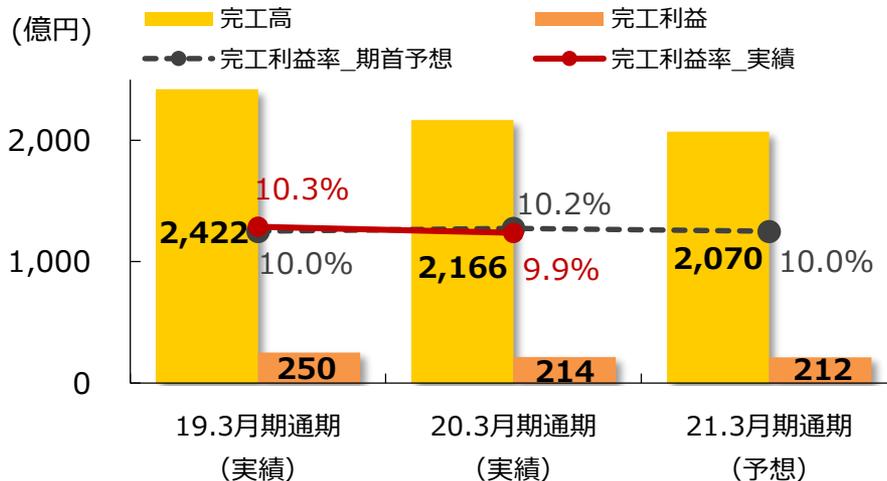
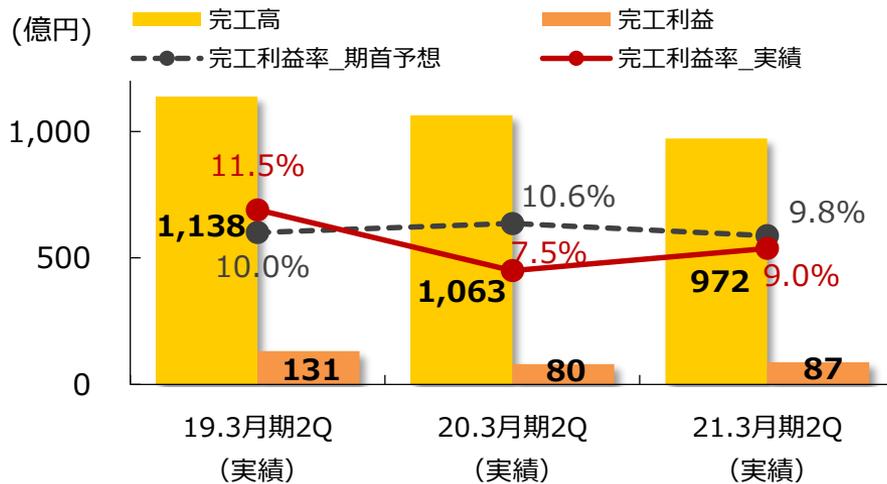
インフラ運営事業
(脱請負)

【個別】建築事業 完工高と完工利益の推移

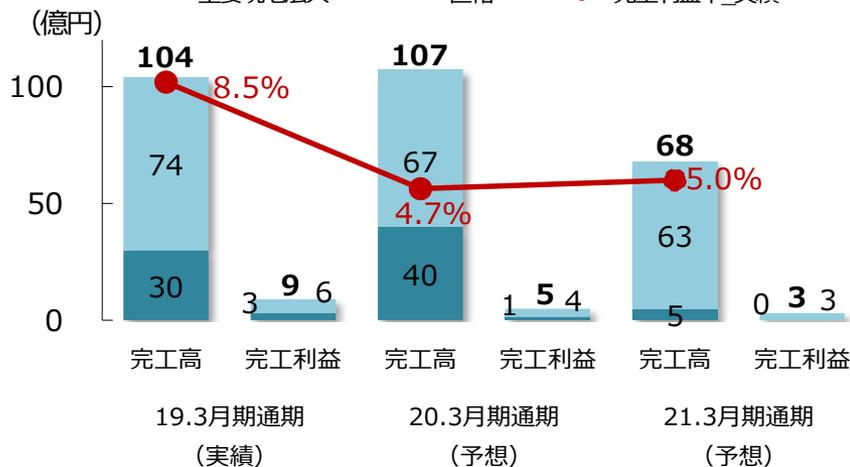
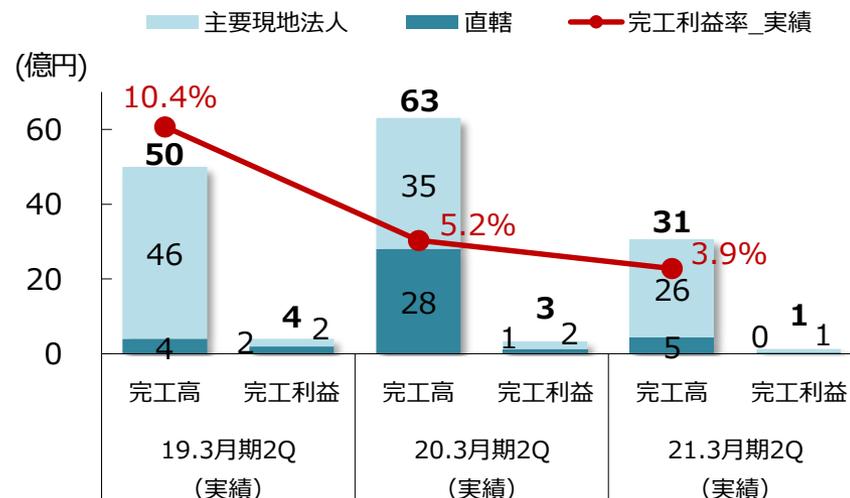
■ 21.3月期2Q 完工高は前期より減少するものの、完工利益額・率共に前期を上回る

■ 21.3月期通期 国内の完工利益額・率共に、期首公表値を達成の見込み

国内



海外



第2四半期

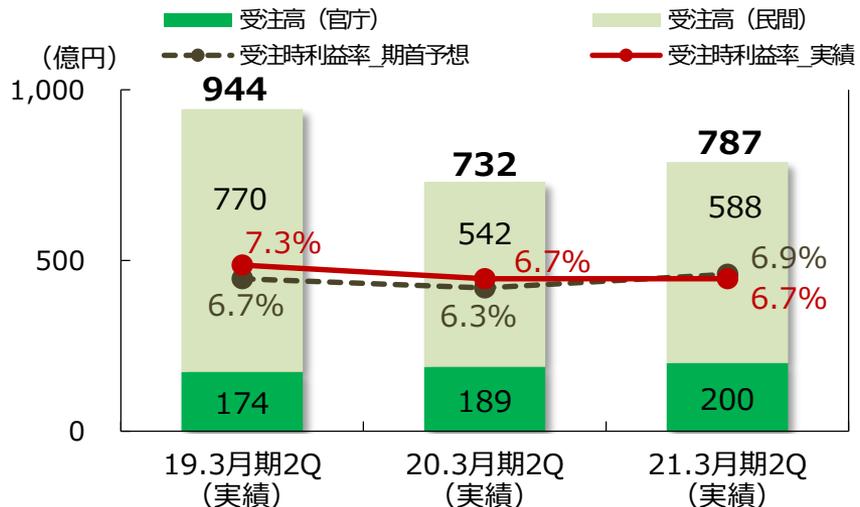
通期

【個別】建築事業 受注高と受注時利益率の推移

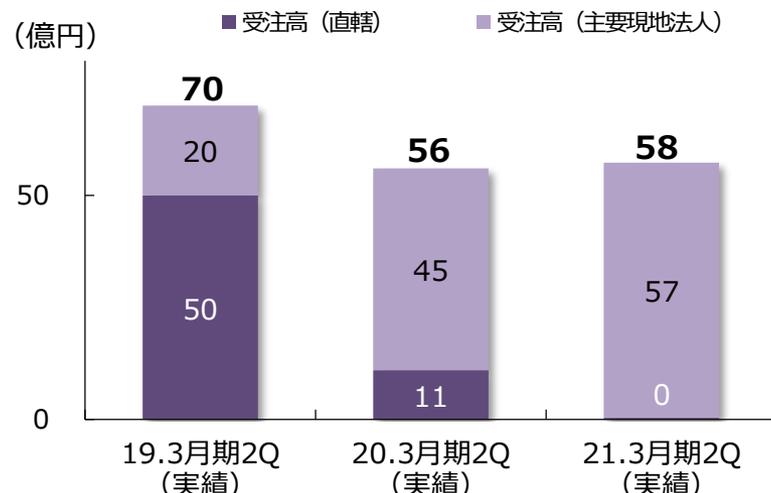
■ 21.3月期2Q 国内の受注高は順調に推移、引き続き計画的に受注を進める

■ 21.3月期通期 国内の受注高、受注時利益率共に、期首公表値を達成の見込み

国内

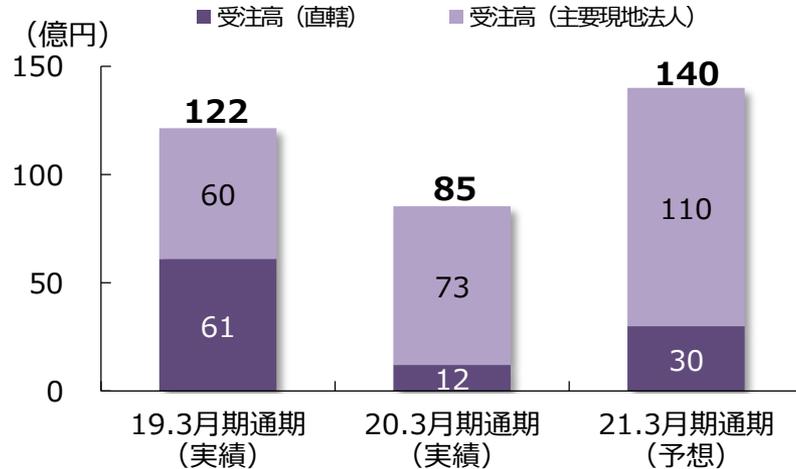
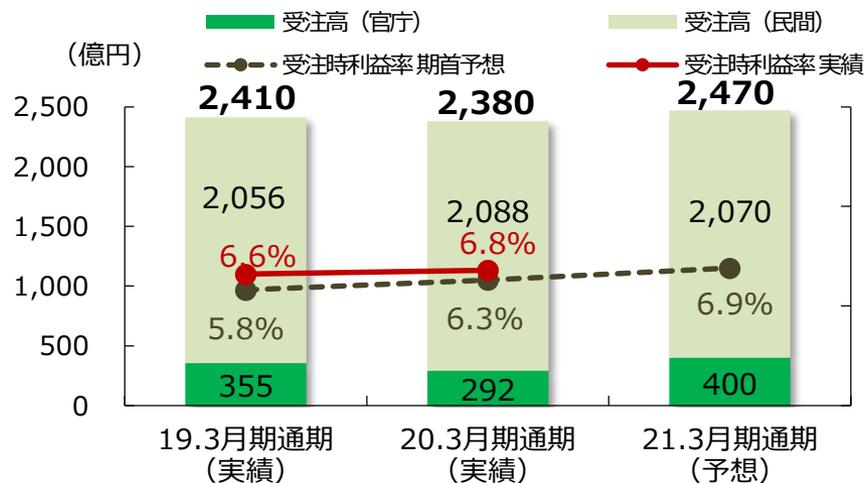


海外



第2四半期

通期



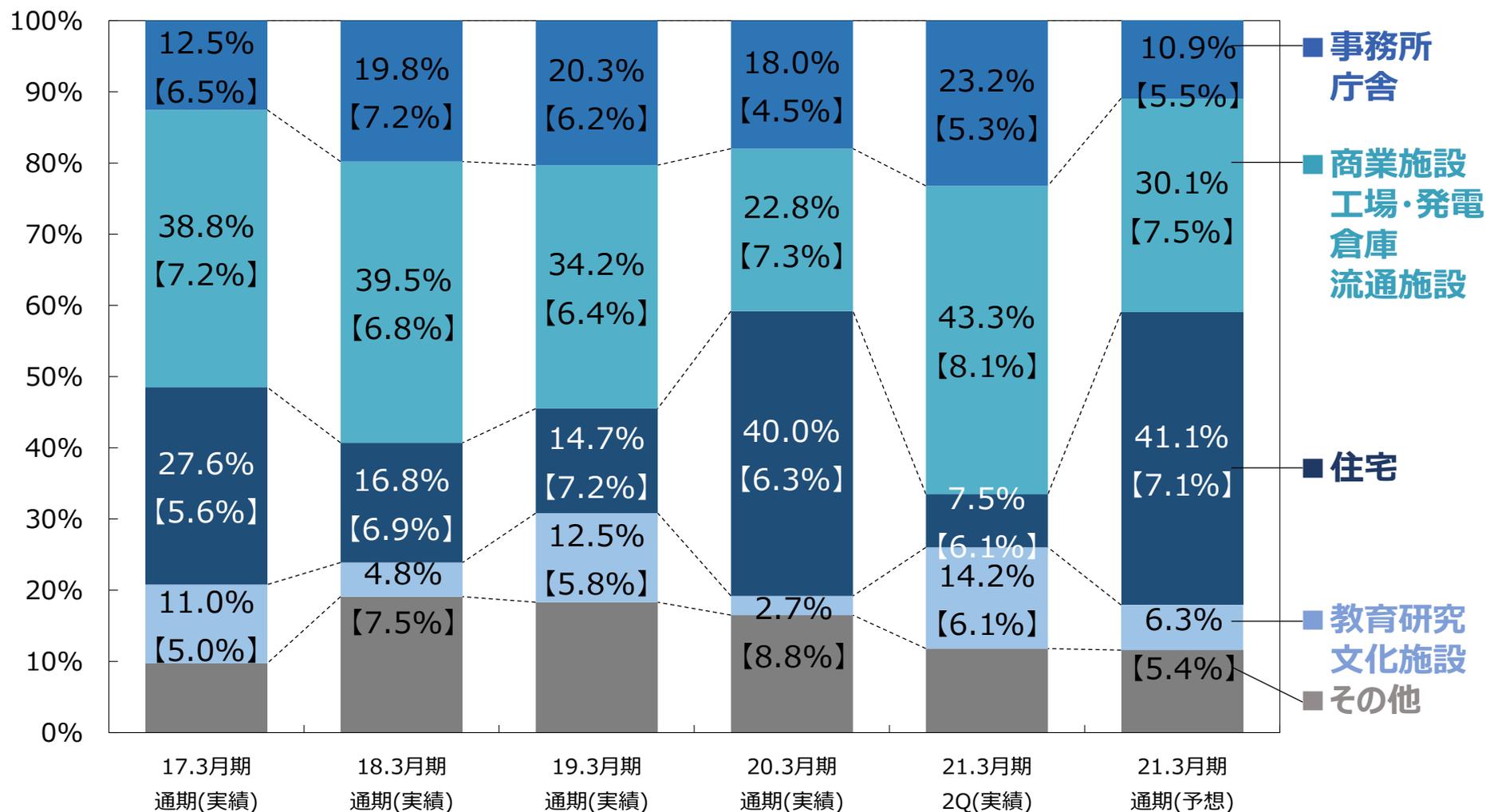
【個別】建築事業 建物用途別 国内受注比率の推移

■ 21.3月期2Q 受注時利益率が高い「商業施設、工場、倉庫施設」の受注が増加

■ 21.3月期通期 再開発工事の受注増により、「住宅」が増加

受注比率

※【 】の中は、受注時利益率



事業別ハイライト

Latest Highlights by Segments

建築事業

土木事業

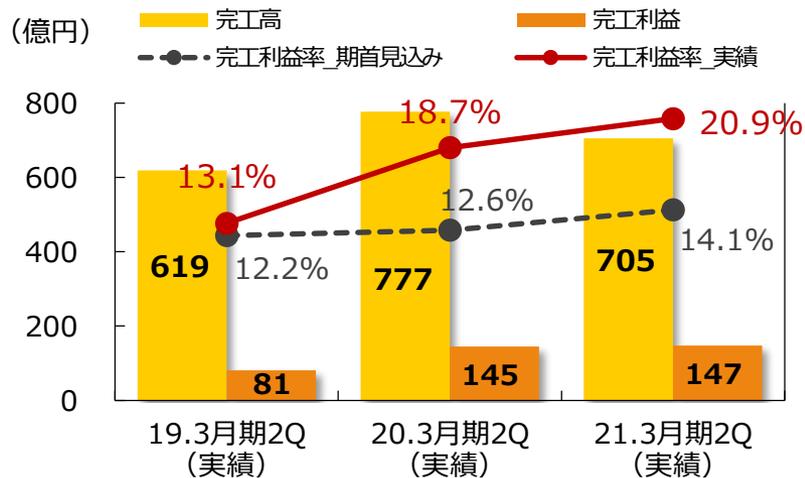
インフラ運営事業
(脱請負)

【個別】土木事業 完工高と完工利益の推移

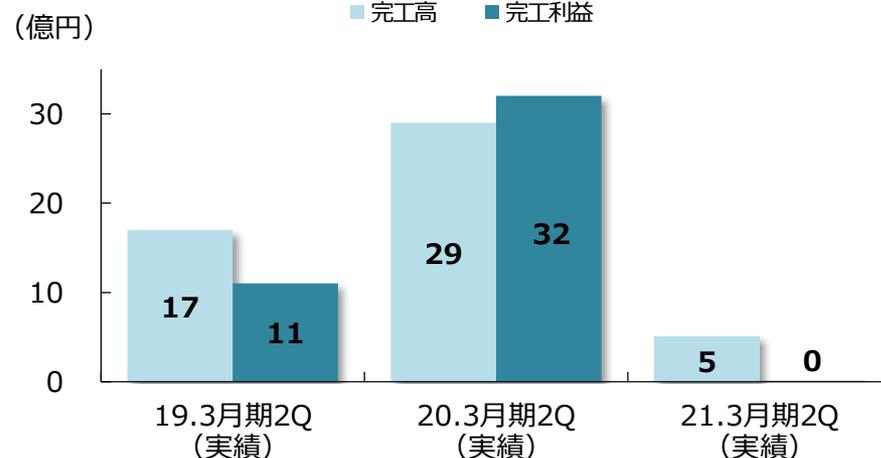
■ 21.3月期2Q 国内完工高は前期よりやや減少するも完工利益額・率共に高水準

■ 21.3月期通期 国内完工高は微減も完工利益は期首公表値を上回る見込み

国内

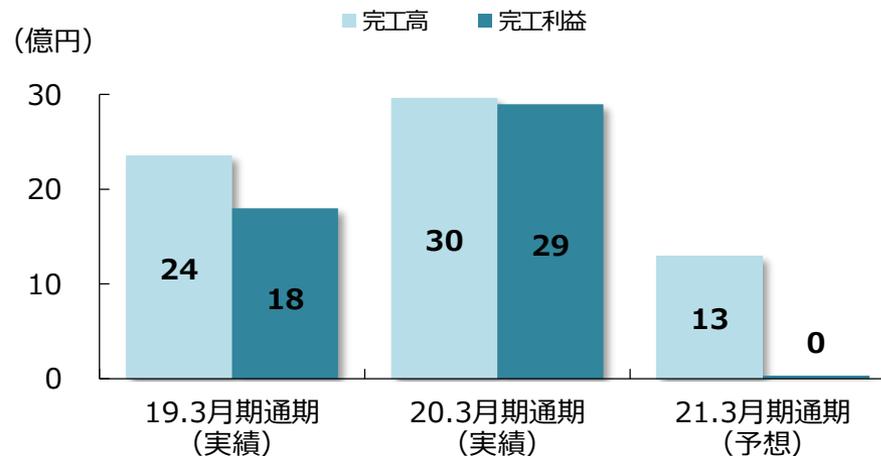
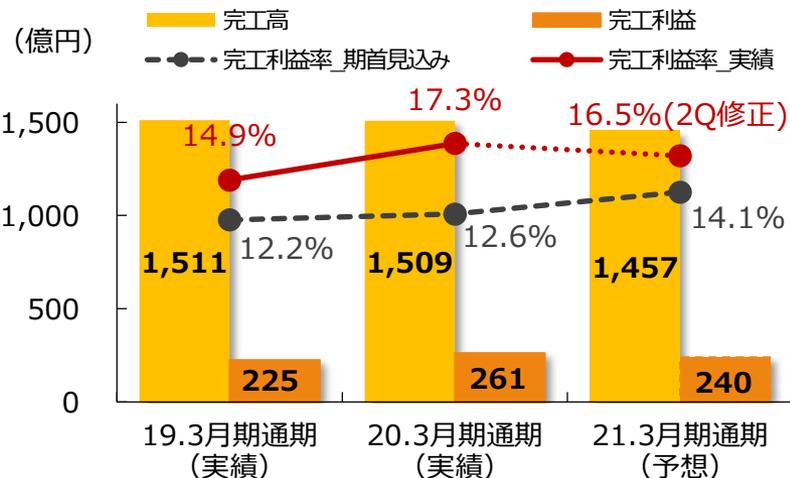


海外



第2四半期

通期

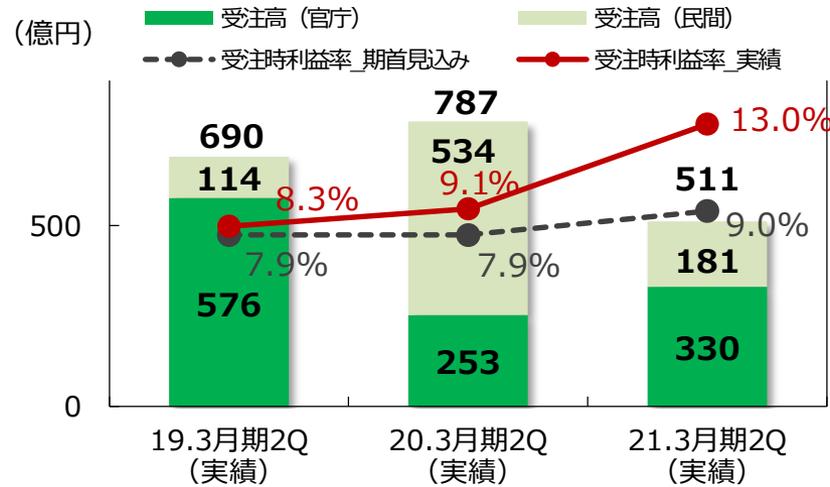


【個別】土木事業 受注高と受注時利益率の推移

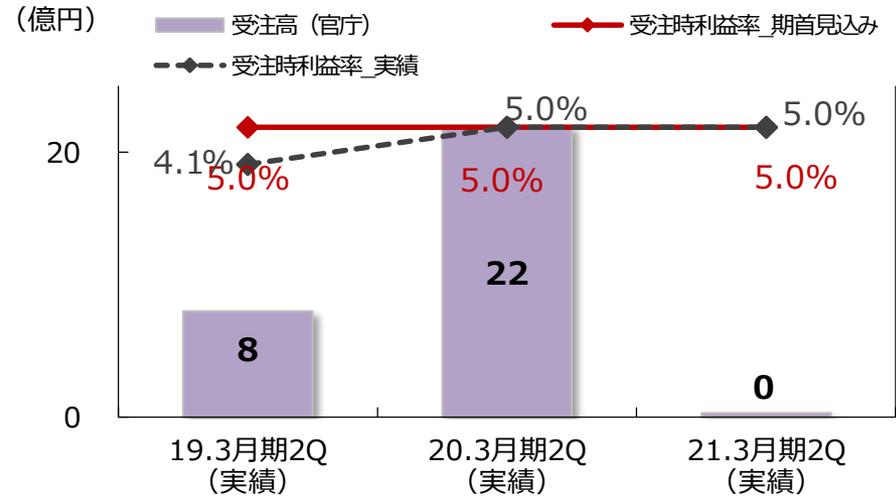
■ 21.3月期2Q 前年同期は大型民間案件が受注を牽引、今期は官庁工事受注が回復傾向である
さらに高採算の設計変更獲得もあり、受注時利益率は期首目標値を大きく上回る

■ 21.3月期通期 引き続き施工体制並びに採算性を考慮した応札を実施しつつ目標達成の見込み

国内

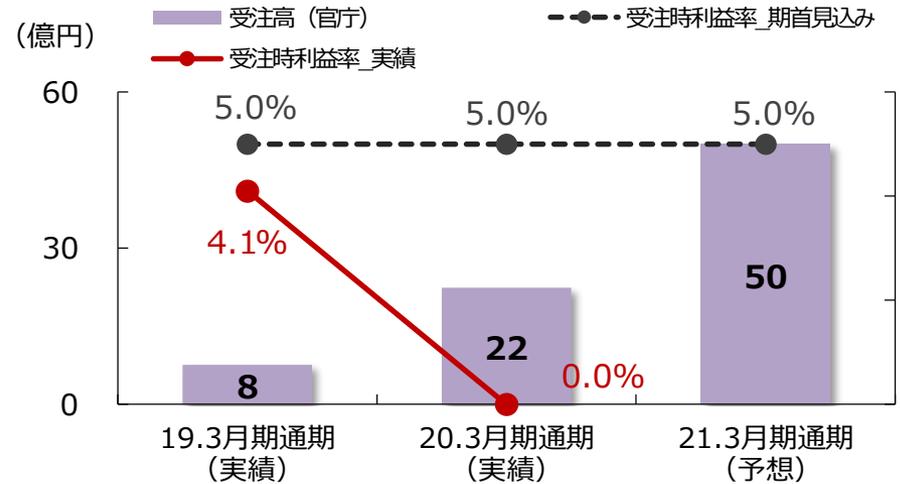
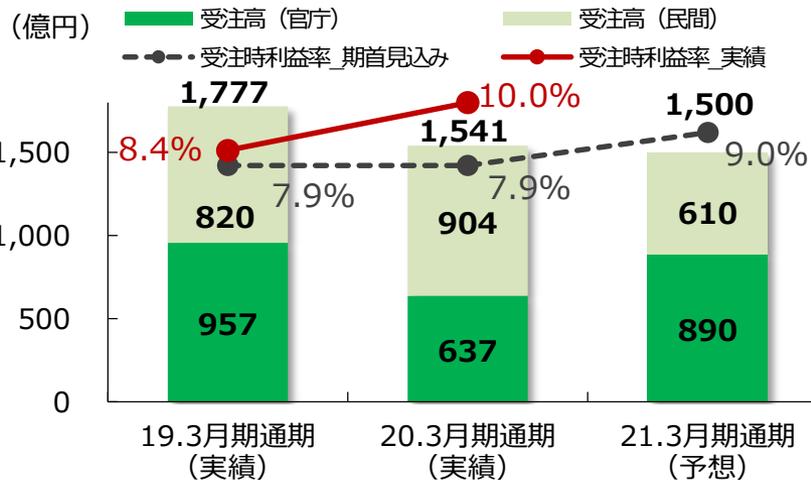


海外



第2四半期

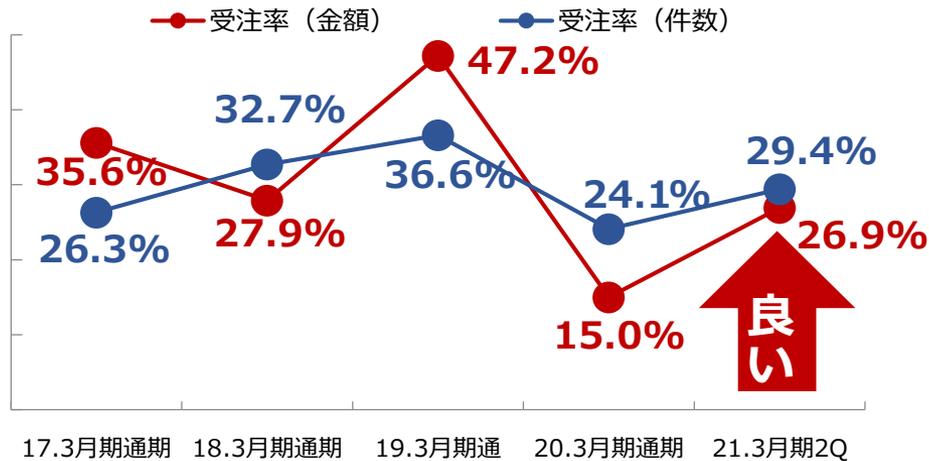
通期



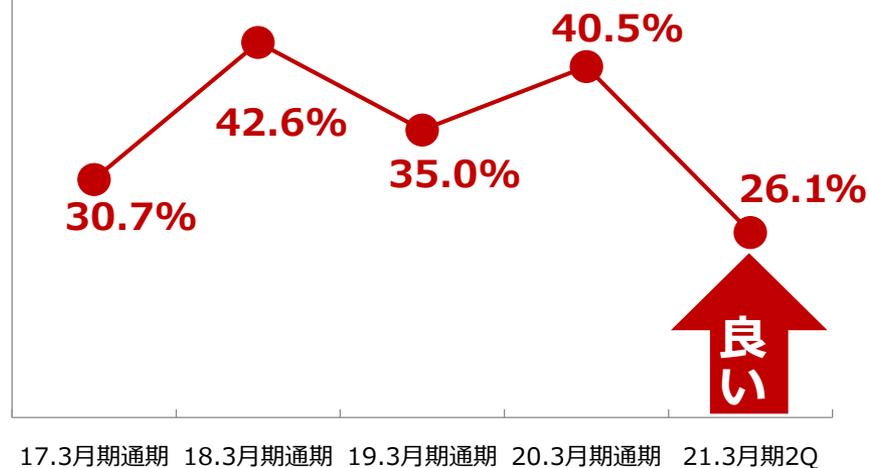
国内土木事業 総合評価案件への取組状況

- 国交省案件の受注件数増により、金額、件数ベース共に回復傾向
- 技術評価点 1 位獲得率の増加に注力。技術評価点 1 位受注率は高水準を維持

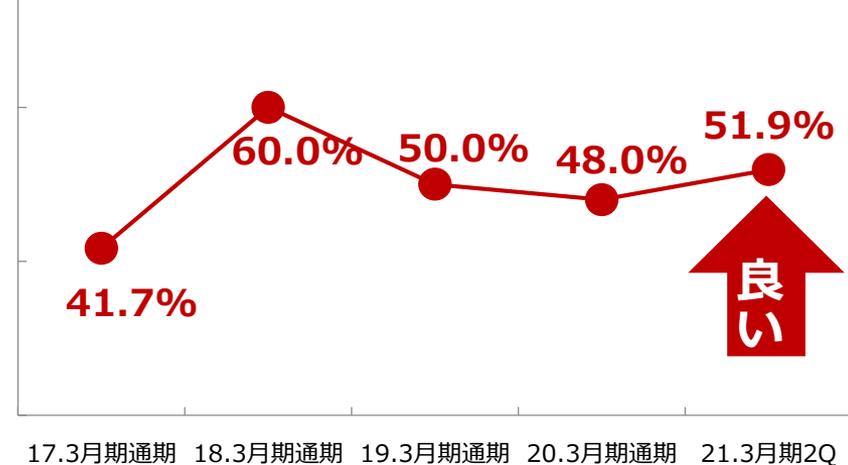
受注率



技術評価点 1 位獲得率



技術評価点 1 位受注率



事業別ハイライト

Latest Highlights by Segments

建築事業

土木事業

インフラ運営事業
(脱請負)

インフラ運営事業の連結利益への貢献

		2017.3月期 (実績)	2018.3月期 (実績)	2019.3月期 (実績)	2020.3月期 (実績)	2021.3月期 (予想)
連結利益への貢献(合計)		22億円	46億円	62億円	53億円	66億円
内訳	連結子会社の営業利益 (愛知道路C、五葉山太陽光 等)	19億円	39億円	38億円	48億円	39億円
	単体業績貢献 (O&M,EPC,開発等業務委託 利益等)	2億円	7億円	13億円	5億円	14億円
	その他収益 ※	1億円	0億円	11億円	0億円	13億円

※ その他収益には売却益、非連結SPC株式配当等を含む

事業区分	場所	規模(AC)	FIT 価格	総事業費	内容
太陽光	茨城県 つば	2 MW	40円	約6億円	2013/3 完成
	岩手県 大船渡	18 MW	40円	約64億円	2015/8 完成
	● 茨城県 北茨城	6.5 MW	36円	約21億円	2016/3 売却
	山口県 美祢	7 MW	40円	約28億円	2017/8 完成
	● 山梨県 甲斐	18 MW	36円	約70億円	2020/5 完成・売却
陸上風力	青森県 六ヶ所	20 MW	22円	約113億円	2016/6 売却
	秋田県 八峰	20 MW	22円	約72億円	2019/1 完成
バイオマス	愛媛県 大洲	50 MW	24円	約330億円	2024/3 完成予定
計		141.5MW		約700億円	
● 前田・マッコーリー					
洋上風力	山口県 下関安岡	60 MW	—	約350億円	事業開発中
小水力	福島県 楢葉	(検討中)	—	(検討中)	事業開発中
計		200.5MW		約1,050億円	



メーカー GE
出力 3,200kW
ロータの直径 103m
ハブ高さ 84m



実績値は予想比118%であり、現在も順調に稼働中

発電実績（2019年4月～2020年3月）

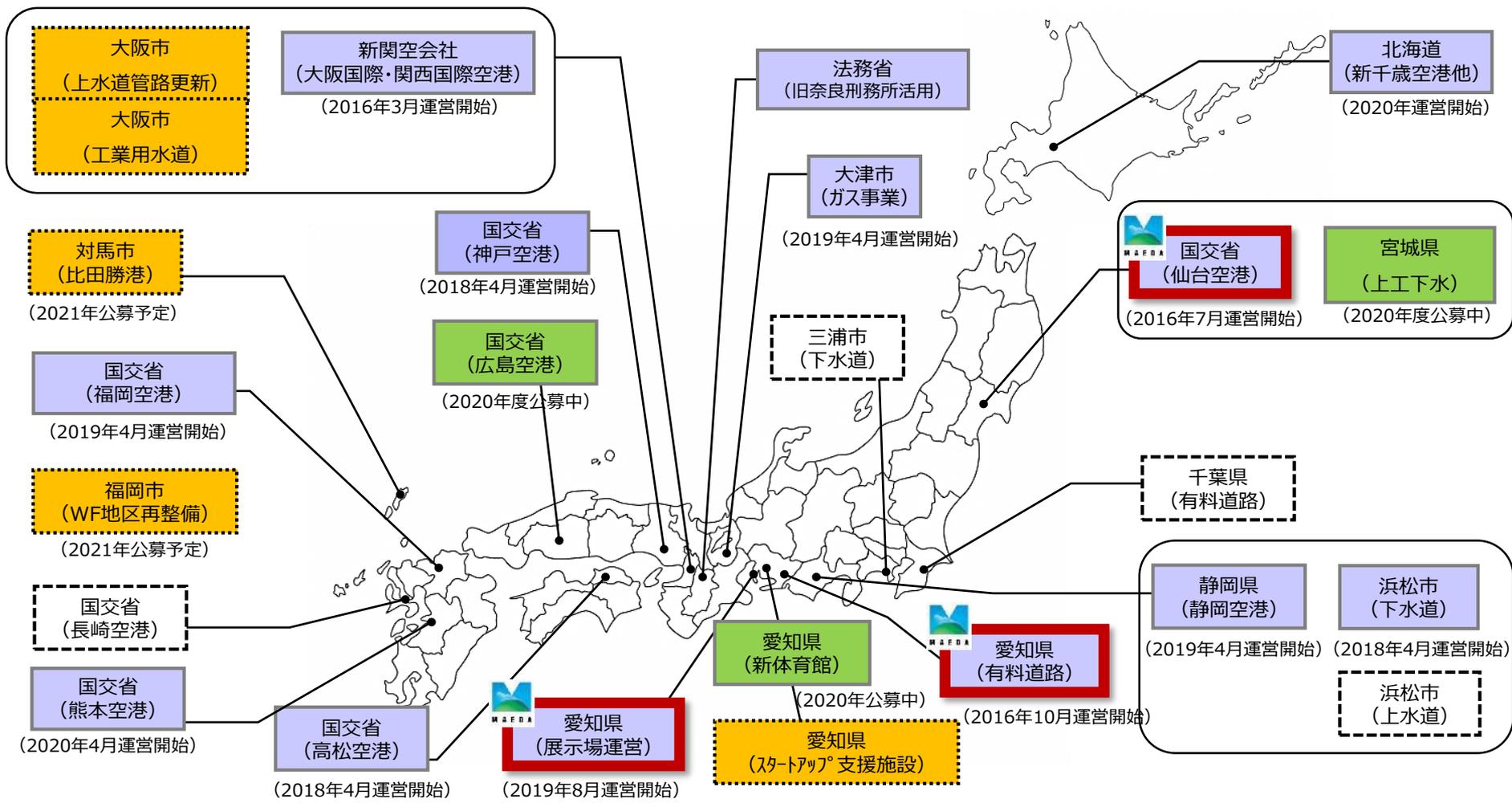
初年度	実績	予想
発電量	20,351 MWh	17,201 MWh
収入	447,722 千円	378,425 千円

発電所概要

所在地	秋田県山本郡八峰町
発電規模	19,950 kW（3,200 kW×7基）
売電価格	22 円 / kWh（税抜）
施工者	前田建設工業株式会社 東北支店
工事期間	2017年6月～2019年1月
売電開始	2019年2月1日

日本で計画されている主なコンセッション事業

- : 運営中
- : 公募予定
- : 運営中 (前田建設が構成会社)
- : 公募予定 (検討中)
- : 公募中

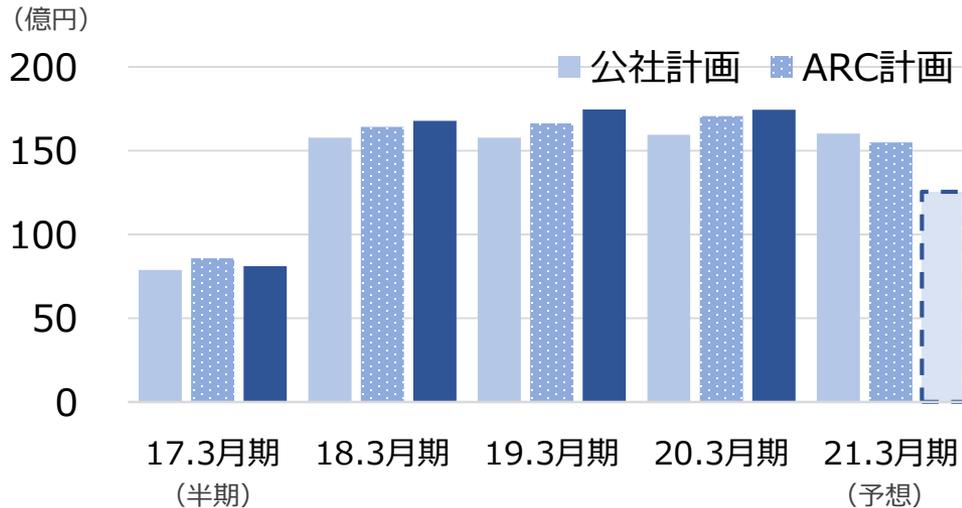


愛知県有料道路コンセッション

業績	売上高	営業利益
2017.3月期(半期)	75.1億円	18.2億円
2018.3月期	156.6億円	36.3億円
2019.3月期	163.3億円	32.9億円
2020.3月期	162.3億円	36.6億円
2021.3月期予想	125.4億円	29.5億円



16年度～19年度の料金収入（実績・計画）推移



【今期見込み】
 コロナ禍により売上高は減少するが、実施契約に定める県の需要変動調整により、営業利益29億を維持

愛知県国際展示場コンセッション

愛知県国際展示場（Aichi Sky Expo）は国内4番目の展示面積をもつ展示場

展示場名	展示面積
東京ビッグサイト	95,000 m ²
幕張メッセ	72,000 m ²
インテックス大阪	70,000 m ²
Aichi Sky Expo	60,000 m²



代表企業：GL events SA

構成企業：前田建設工業

協力企業：KSAインターナショナル



開業からの実績（2019年8月30日～2020年10月31日）

イベント数	102件（2020年7月以降は19件）
来場者数	約70万人（2020年7月以降は約3万人）

新型コロナの影響下ではあるが、イベント件数・来場者数は増加傾向にある



2019年度収支状況

2019年8月30日(開業)～2020年3月31日までの収支状況（赤字補填対象範囲）

営業利益：+約5,700万円（税抜）の達成（下記愛知県による対コロナ禍サポート4,900万円を含む）

愛知県によるサポート（対コロナ禍）

内容

2019年度末(2-3月)におけるコロナによるイベントキャンセル10件、総額約4,900万円の全額補助

2020年度（現時点まで）イベントキャンセルについて愛知県より正式に補助金交付が決定（総額約2.3億円）

		2021.3月期 (予想)	2022.3月期 (予想)	2028.3月期 NEXT10
連結利益への貢献(合計)		66億円	100億円	300億円
内訳	連結子会社の営業利益 (愛知道路C、五葉山太陽光等)	39億円	41億円	—
	単体業績貢献 (O&M,EPC,開発等業務委託利益等)	14億円	9億円	—
	その他収益 ※	13億円	50億円	—

※ その他収益には売却益、非連結SPC株式配当等を含む



トピックス

Topics

多様な用途における大型工事の受注に向けた取組みに注力

宇都宮駅東口地区整備事業 賑わい交流施設



「隈研吾建築都市設計事務所作成」

『人・もの・情報』等の交流の賑わいの創出、都市の魅力向上等に資する賑わい交流施設を整備。周辺はホテルや商業施設など、多様で高次の都市機能の導入による新たな都市拠点が形成される。

発注者：野村不動産株式会社

項目	交流施設
構造・規模	S造・RC造、地上4階
延床面積	11,485㎡
工期	2020年10月～2022年10月

富山県防災・危機管理センター(仮称) 新築工事

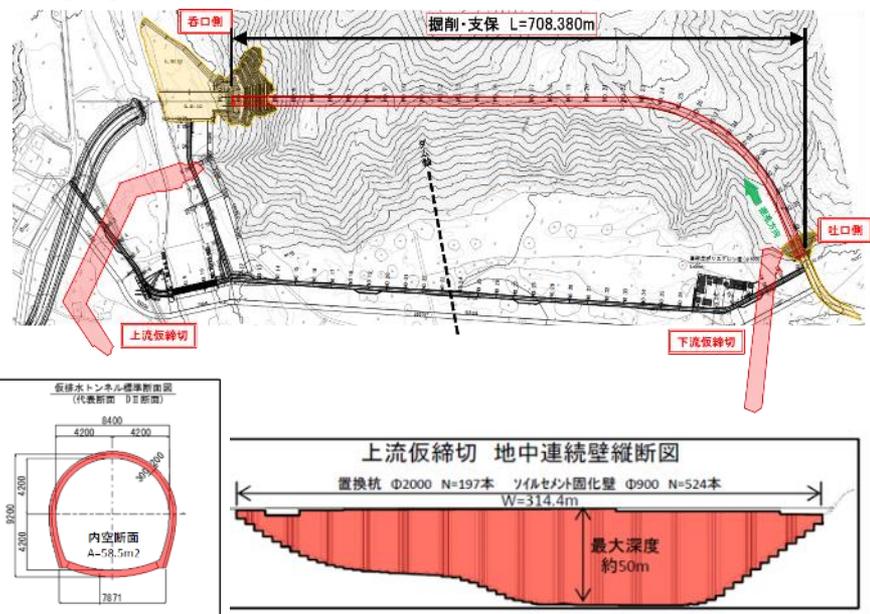


大規模自然災害に備えるとともに、多様化する危機管理事案に迅速かつ的確に対応し、平常時においても地域防災力の向上を図るために有効に活用される「防災・危機管理の中核施設」として整備する。

発注者：富山県

項目	防災・危機管理庁舎
構造・規模	RC造・S造(一部CFT造)、地上10階
延床面積	10464㎡
工期	2020年6月～2022年6月

鳥海ダム仮排水トンネル工事
鳥海ダム仮締切(地中壁)工事

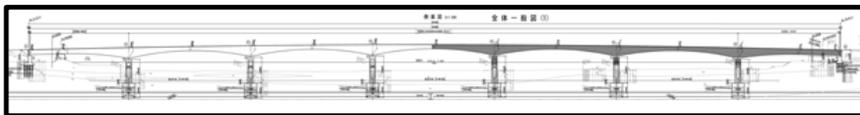


ダム本体の施工に向けた仮排水トンネル、地下水の流れを堰き止める仮締切工を同時受注。
ダム本体工事受注へ向けて足掛かりとしたい事業。

発注者：国土交通省 東北地方整備局

項目	内容
施工場所	秋田県由利本荘市鳥海町
工事概要	トンネル延長 L=708m 地中連続壁工 L=530m
工期	2020年7月～2022年8月

神宮紀宝道路熊野川河口大橋P4-P6上部工事



輸送時間の短縮、緊急医療活動の支援、渋滞緩和、土砂災害や南海トラフ地震等の災害時におけるネットワークを構築し、救命活動や地域振興支援を目的とした事業。

発注者：国土交通省 近畿地方整備局

項目	内容
施工場所	三重県南牟婁郡紀宝町～和歌山県新宮市
工事概要	工事延長 L=821m 橋梁上部工：PC箱桁橋 3.5径間
工期	2020年7月～2023年1月

前田建設工業株式会社

**経営革新本部 総合企画部長
坂口 伸也**

sakaguchi.s@jcity.maeda.co.jp

**経営革新本部 総合企画部経営企画グループ長
古川 建作**

furukawa.k@jcity.maeda.co.jp

TEL : 03-5276-5131